

「我が国の地球観測グランドデザインと基幹衛星の将来計画」

【主催】：一般社団法人日本写真測量学会、一般社団法人日本リモートセンシング学会

【共催】：一般社団法人地理情報システム学会

【開催日時】：2023年11月1日(水)～12月10日(日) G空間EXPO公式HPでオンデマンド配信(測量CPD対象)

【趣旨】

2022年10月のイプシロンロケット打ち上げ失敗、2023年3月のH3ロケット試験機1号機の打ち上げ失敗と先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3)の喪失など、我が国のロケット開発と地球観測は今、試練の時を迎えている。

このような中、2023年6月13日に新しい宇宙基本計画が閣議決定され、同日、工程表が宇宙開発戦略本部において決定されている。その中で、前述の打ち上げ失敗とALOS-3喪失も踏まえた基幹地球観測衛星の計画見直しが示されている。

また、今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」では、新しい地球観測ミッション提案の試行公募(第三回)が行なわれている。

さらに、2022年9月に設立された衛星地球観測コンソーシアム(Consortium for Satellite Earth Observation; CONSEO)では、2023年3月に提言「衛星地球観測の全体戦略に関する考え方」、2023年6月に光学・SAR観測WGにおいてALOS-3喪失も受けた次期光学ミッションの具体的なミッションコンセプト提案がまとめられている。

このような動向も受け、本シンポジウムでは、「我が国の地球観測グランドデザインと基幹衛星の将来計画」をテーマに、主に基幹地球観測衛星を中心としたこれまでの経緯と現時点での将来計画、これらを後押しする技術開発やコミュニティ等の関連活動に関する理解を深め、将来を展望する機会としたい。

【プログラム】

	講演タイトル	講演者	時間
0	開会のご挨拶	赤松 幸生 一般社団法人日本写真測量学会 副会長	5分10秒
1	地球観測グランドデザイン	本多 嘉明 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 准教授	12分40秒
2	次期光学ミッションの方向性について	竹上 直也 文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 企画官	17分31秒
キーワード①			
3	JAXA GCOM ミッションの成果と将来	高橋 暢宏 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授	9分25秒
4	GPM(全球降水観測計画)からAOS PMM (大気観測システム 降水レーダ衛星)へ	高藪 縁 東京大学 大気海洋研究所 教授/JAXA GPM Project Scientist	8分57秒
キーワード②			
5	GOSAT シリーズについて ～宇宙からの温室効果ガスの長期観測～	松永 恒雄 国立環境研究所 衛星観測センター長	16分01秒
6	ひまわり後継衛星計画について	安藤 昭芳 気象庁 気象衛星課 情報通信システム班長	9分46秒
キーワード③			
7	将来に向けた衛星観測技術開発	木村 俊義 宇宙航空研究開発機構 センサ研究グループ長	12分05秒
8	衛星地球観測コンソーシアム(CONSEO) の活動	松尾 尚子 CONSEO 事務局/JAXA 衛星利用運用センター 技術領域主幹	17分25秒

1時間49分46秒
(キーワード表示時間含む)
以上